

# 三小タイムズ

令和3年2月3日発行 校長 辻 久恵

## 音楽授業（1年1組）

単元名 はくをかんじてリズムをうとう

### 本時のねらい

拍の流れを感じ取って簡単なリズム打ちをしたり、自分でリズムに合う言葉を選び組み合わせで表現したりする。

### 学習の展開

○リトミックをして、身体を音楽の曲想に合わせて動かしリラックスする。

・スキップ ・小人さん ・ぞうさん

○本時のめあてを確認する。

○「たん」「うん」「た」「う」を組み合わせた教師の提示したリズムを打つ。

「たん」四分音符 「た」八分音符

「うん」四分休符 「う」八分休符

・「たきび」「さんぽ」に合わせてリズムを打ち、確かめる。

○自分で拍を意識したリズムを作り、ワークシートに書く。

八分音符2つ分で四分音符

八分休符2つ分で四分休符になることを示す。

○作ったリズムを交流する。

・1小節ずつ発表し、作り手→全員でリズムを打ち、確かめる。

・自分の作ったリズムで「きらきらぼし」に合わせてリズム打ちをする。

・拍を意識してリズムを作った中で、代表の児童のリズムを「たきび」に合わせて全員でリズム打ちをする。

○「きらきらぼし」を聞く。

・歌詞を覚える。

・階名を覚える。

（コロナ禍で実際に歌唱や鍵盤ハーモニカができないことを考慮して自分の体を使った表現を取り入れる）

○「ど れ み ん あ そ ら し ど」の各音を、言葉にしくなくても腕を使ったポーズで表せることを知り、「きらきらぼし」を身体で表現する。

・「ど れ み ん あ そ ら し ど」の各音のポーズを示したイラストを見ながら、速さを変えて表現する。

○時事の学習内容を確認する。

・次の時間は「きらきらぼし」を木琴で演奏します。

